

令和6年度から使用する広島市立小学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔算数〕種目〔算数〕

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の採択について

教科 [ 算 数 ] 種目 [ 算 数 ]

1 本市の実態や児童の状況

- 本市では、児童の思考力・判断力・表現力等を高めるために、めあてを明確にし、数学的に問題を解決する過程に重点をおいた授業づくりに取り組んでいる。また、「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、問題解決学習が形式的にならないように、取組を進めている。
- 令和4年度全国学力・学習状況調査によると、算数科における本市の平均正答率は65%（全国平均63.2%）で、全ての領域において全国平均を上回っている。また、正答率30%未満の児童の割合は7.3%（全国8.9%）であり、全国より低い結果となっている。しかし、「変化と関係」の領域について、本市の平均正答率は53.1%（全国平均51.3%）であり、数量が変わっても割合は変わらないことを理解すること（本市の平均正答率22.9%、全国平均21.4%）に課題がある。  
また、観点別では、「知識・技能」（本市の平均正答率69.2%、全国平均68.2%）に比べ「思考・判断・表現」（本市の平均正答率58.8%、全国平均56.7%）の平均正答率が低くなっている。また、児童質問紙調査において「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」という質問に対する本市の肯定的回答は、68.9%（全国69.3%）と全国を下回っており、学習したことを日常生活に結び付けて考えることに課題がある。

2 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
<基礎・基本の定着>	① 基礎的・基本的な知識及び技能の定着のための工夫 ② 補充的な学習の取扱い
<主体的に学習に取り組む工夫>	③ 見通しをもって数学的活動を行うための工夫 ④ 日常の事象から見いだした問題を解決する活動の工夫
<内容の構成・配列・分量>	⑤ 全体の配列・分量と単元の構成
<内容の表現・表記>	⑥ 挿絵・写真・図表等の資料の活用の工夫 ⑦ 配色や文字の大きさ等の工夫
<言語活動の充実>	⑧ 問題解決の過程や自分の考えを表現し伝え合う活動の工夫

### 3 各教科書の特徴

#### 1 基礎・基本の定着

##### 視点① 基礎的・基本的な知識及び技能の定着のための工夫

- 2年下「かけ算(2)九九をつくろう」
  - ・ アレイ図を基に九九を構成する学習を設定している。
  - ・ 6～9の段の答えを求めて記入する欄がある。
  - ・ 九九を見直す学習を設定している。
  - ・ 巻末に操作用のアレイ図がある。
- 6年  
巻末に数直線の図のかき方を掲載している。

##### 視点② 補充的な学習の取扱い

- 巻末に掲載している補充問題のページ数(ほじゅうのもんだい)  
2年上: 8ページ 2年下: 4ページ 3年上: 7ページ 3年下: 5ページ  
4年上: 8ページ 4年下: 8ページ 5年上: 9ページ 5年下: 6ページ 6年: 10ページ  
総ページ数: 65ページ

#### 2 主体的に学習に取り組む工夫

##### 視点③ 見通しをもって数学的活動を行うための工夫

- 巻頭に「学びのとびら」として学習の進め方を示している。
- 単元末にその単元で大切にしたい見方・考え方を確かめる問題を掲載した特設ページを設けている。

##### 視点④ 日常の事象から見いだした問題を解決する活動の工夫

- 1年下「おおきい・かず」  
単元の導入場面において、ひまわりやあさがおの種の数を数える学習を設定している。
- 5年下「割合～比べ方を考えよう(2)～」  
単元の導入場面において、4人のバスケットボールのシュートの記録から、いちばんよく成功したといえるのはだれかを考える学習を設定している。
- 6年「データの調べ方～データの特ちょうを調べて判断しよう～」
  - ・ 単元の導入場面において、6年1組、2組、3組の、長縄の8の字跳びのデータから、縄跳び大会でどこが優勝するか予想する学習を設定している。
  - ・ 単元末に、統計的な問題解決の手順に関する内容を掲載している。また、学年末に「データを使って生活を見なおそう」という小単元を設け、統計的な問題解決の手順を活用する学習を設定している。

#### 3 内容の構成・配列・分量

##### 視点⑤ 全体の配列・分量と単元の構成

- 単元数  
1年: 18単元 2年: 17単元 3年: 18単元  
4年: 14単元 5年: 18単元 6年: 13単元
- ページ数  
1年上: 40ページ 1年下: 129ページ 2年上: 132ページ 2年下: 117ページ  
3年上: 151ページ 3年下: 127ページ 4年上: 155ページ 4年下: 151ページ  
5年上: 149ページ 5年下: 145ページ 6年: 269ページ
- 仕様  
1年上: 判型A4判 それ以外: 判型B5判
- 単元の構成
  - ① 単元のプロローグ
  - ② 毎時の学習
  - ③ 学習のしあげ
    - ・ いかしてみよう
    - ・ たしかめよう
    - ・ つないでいこう算数の目～大切な見方・考え方

#### 4 内容の表現・表記

##### 視点⑥ 挿絵・写真・図表等の資料の活用の工夫

###### 【挿絵・図の扱い】

- 2年下「分けた大きさのあらし方をしらべよう」
  - ・ 単元の導入場面では、2種類(サンドイッチ、ピザ)のイラストを掲載している。
  - ・ 実際に半分に分ける場面では、写真や折り紙のイラストを掲載している。
  - ・ 同じ数ずつ分ける場面では、チョコレートの写真とドット図を用いて考える学習を設定している。

【図表等の資料の活用】

- 5年下「比べ方を考えよう(1)」  
単位量当たりの大きさを比較する学習では、ドットを用いた図、表、数直線を掲載している。
- 5年下「比べ方を考えよう(2)」  
割合に関する学習では、テープ図、表、数直線を掲載している。

視点⑦ 配色や文字の大きさ等の工夫

- 配色・文字
  - ・ カラーユニバーサルデザインに配慮している。
  - ・ ユニバーサルデザインフォントを採用している。
- 3年上「同じ数ずつ分けるときの計算を考えよう」  
除法の式の意味を1色で示している。

5 言語活動の充実

視点⑧ 問題解決の過程や自分の考えを表現し伝え合う活動の工夫

- 6年「比例の関係をくわしく調べよう」  
問題解決の過程や自分の考えを表現し伝え合う際のポイントを示している。

問題をつかもう。

- ・ 今日はどんな問題かな。
- ・ どのように考えれば解決できるかな。
- ・ 今まで学習したことで、使えることはないかな。

自分の考えをかき表そう。

- ・ ほかの人が見てもわかるかな。
- ・ 別の求め方でも考えてみよう。

友だちと学ぼう。

- ・ 表や式から、友だちの考えがわかるかな。
- ・ 自分の考えと似ているところやちがうところはどこかな。
- ・ 友だちの考えのいいところはどこかな。

振り返ってまとめよう。

- ・ 考えの共通しているところはどんなところかな。
- ・ 今日の学習でどんなことがわかったかな。
- ・ どんな考えが役に立ったかな。

## 1 基礎・基本の定着

**視点①** 基礎的・基本的な知識及び技能の定着のための工夫

- 2年「かけ算九九つくり かけ算九九をつくろう」
  - ・ アレイ図を基に九九を構成する学習を設定している。
  - ・ 6・7の段の答えを求めて記入する欄がある。
  - ・ 九九を覚える学習を設定している。
- 6年
  - ・ 巻末に数直線の図のかき方を掲載している。

**視点②** 補充的な学習の取扱い

- 巻末に掲載している補充問題のページ数（プラス・ワン）
  - 2年：13ページ 3年：11ページ 4年：13ページ 5年：16ページ 6年：13ページ
  - 総ページ数：66ページ

## 2 主体的に学習に取り組む工夫

**視点③** 見通しをもって数学的活動を行うための工夫

- 巻頭に「算数の学び方」として学習の進め方を示している。
- 巻頭に見方・考え方をまとめて示している。単元末にその単元で大切にしたい見方・考え方を確かめる問題を掲載している。

**視点④** 日常の事象から見いだした問題を解決する活動の工夫

- 1年下「大きな かず」
  - ・ 単元の導入場面において、おはじきの数を数える学習を設定している。
- 5年「割合～比べ方を考えよう～」
  - ・ 単元の導入場面において、ドッジボール大会でこれまでの4チームの試合数と勝った試合数の記録から、現時点での成績を比べる学習を設定している。
- 6年「データの活用～データの特ちょうを調べよう～」
  - ・ 単元の導入場面において、10年前と今年の6年1組の人が、5月に借りた本の冊数のデータから、どちらの方が本をよく借りているといえるかを考える学習を設定している。
  - ・ 単元末に、統計的な問題解決の手順に関する内容を掲載している。

## 3 内容の構成・配列・分量

**視点⑤** 全体の配列・分量と単元の構成

- 単元数
  - 1年：20単元 2年：17単元 3年：18単元
  - 4年：15単元 5年：18単元 6年：13単元
- ページ数
  - 1年上：41ページ 1年下：141ページ 2年：251ページ 3年：271ページ
  - 4年：295ページ 5年：293ページ 6年：273ページ
- 仕様
  - 1年上：判型A4判 それ以外：判型B5判
- 単元の構成
  - ① 単元導入
  - ② 毎時の学習
  - ③ たしかめ問題
    - ・ しっかりチェック
    - ・ 単元全体をふりかえろう
  - ④ 学んだことを生かそう

## 4 内容の表現・表記

**視点⑥** 挿絵・写真・図表等の資料の活用の工夫

## 【挿絵・図の扱い】

- 2年「分けた大きさのあらし方を考えよう」
  - ・ 単元の導入場面では、3種類（サンドイッチ、ピザ、パン）の写真に掲載している。
  - ・ 実際に半分に分ける場面では、写真や折り紙のイラストを掲載している。
  - ・ 同じ大きさに分ける場面では、チョコレートのイラストを用いて考える学習を設定している。

## 【図表等の資料の活用】

- 5年「混みぐあいなどの比べ方を考えよう」
  - ・ 単元量当たりの大きさを比較する学習では、ドットを用いた図、表、数直線を掲載している。
- 5年「比べ方を考えよう」
  - ・ 割合に関する学習では、表、数直線を掲載している。

**視点⑦ 配色や文字の大きさ等の工夫**

- 配色・文字
  - ・ カラーユニバーサルデザインに配慮している。
  - ・ ユニバーサルデザインフォントを採用している。
- 3年「わり算」  
除法の式の意味を3色で示している。

**5 言語活動の充実****視点⑧ 問題解決の過程や自分の考えを表現し伝え合う活動の工夫**

- 6年「分数と整数のかけ算・わり算を考えよう」  
問題解決の過程や自分の考えを表現し伝え合う際のポイントを示している。

**問題をつかもう**

- ・ わかっていることや、求めることをはっきりさせよう。
- ・ これまでの問題とちがうところを見つけよう。

**自分で考えよう**

- ・ 見通しをもとう。
- ・ これまでの学習が使えるか考えよう。
- ・ 図や式、言葉を使って、考えを筋道立ててノートにかこう。
- ・ もっとよいやり方がないか見直そう。

**学び合おう**

- ・ 自分の考えを筋道立てて説明しよう。
- ・ 発表を聞くときは、自分の考えと似ているところ、違うところを見つけながら聞こう。
- ・ 友達の考えを読み取って、説明してみよう。
- ・ 式を見直して、きまりを見つけよう。

**まとめよう**

- ・ わかったことをまとめよう。

**使ってみよう**

- ・ 別の問題に使ってみよう。

**ふりかえろう**

- ・ 今日の学習をふりかえろう。

1 基礎・基本の定着

視点① 基礎的・基本的な知識及び技能の定着のための工夫

- 2年「かけ算(2) かけ算のきまりをつかって九九を作ろう」
  - ・ 具体物(チョコレート)を基に九九を構成する学習を設定している。
  - ・ 6～9の段の答えを求めて記入する欄がある。
  - ・九九を覚える学習を設定している。
- 6年

巻中に数直線の図、関係図のかき方を掲載している。

視点② 補充的な学習の取扱い

- 巻末に掲載している補充問題のページ数(ほじゅう問題)
  - 1年上: 8ページ 1年下: 8ページ 2年上: 9ページ 2年下: 7ページ
  - 3年上: 11ページ 3年下: 7ページ 4年上: 8ページ 4年下: 10ページ
  - 5年上: 11ページ 5年下: 8ページ 6年 : 12ページ 総ページ数: 99ページ

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 見通しをもって数学的活動を行うための工夫

- 巻頭に「算数の学び方」として学習の進め方を示している。
- 巻頭と巻末に見方・考え方をまとめて示している。単元末にその単元で大切にしたい見方・考え方を振り返る特設ページを設けている。

視点④ 日常の事象から見いだした問題を解決する活動の工夫

- 1年下「大きい かずを かぞえよう」
  - 単元の導入場面において、ブロックの数を数える学習を設定している。
- 5年下「全体とその部分の比べ方を調べよう」
  - 単元の導入場面において、3人のバスケットボールのシュートの記録から、だれがいちばんシュードの成績がよいといえるか比べ方を考える学習を設定している。
- 6年「資料の整理～資料を代表する値やちらばりのようすを調べよう～」
  - ・ 単元の導入場面において、現在と15年前の6年1組の新体力テストの結果の記録から、現在の6年1組の体力が低下したといえるか調べる学習を設定している。
  - ・ 学年末に、「いろいろな問題を解決しよう」という単元を設け、統計的な問題解決の手順に関する内容を掲載し、統計的な問題解決の手順を活用する学習を設定している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 全体の配列・分量と単元の構成

- 単元数
  - 1年: 19単元 2年: 22単元 3年: 20単元
  - 4年: 21単元 5年: 21単元 6年: 15単元 別冊: 2単元
- ページ数
  - 1年上: 99ページ 1年下: 106ページ 2年上: 165ページ 2年下: 141ページ
  - 3年上: 149ページ 3年下: 170ページ 4年上: 158ページ 4年下: 181ページ
  - 5年上: 174ページ 5年下: 180ページ 6年 : 260ページ 別冊 : 48ページ
- 仕様
  - 判型A B判
- 単元の構成
  - ① ?を発見
  - ② 毎時の学習
  - ③ できるようになったこと
  - ④ まなびをいかそう
  - ⑤ 考え方モンスターでふりかえろう!
  - ⑥ ?をかいつ  
つなげたいな

4 内容の表現・表記

視点⑥ 挿絵・写真・図表等の資料の活用の工夫

【挿絵・図の扱い】

- 2年下「1つ分を数であらわして考えよう」
  - ・ 単元の導入場面では、2種類(アメ、チョコレート)のイラストを掲載している。
  - ・ 実際に半分に分ける場面では、写真や折り紙のイラストを掲載している。
  - ・ 同じ大きさに分ける場面では、ケーキのイラストとドット図を用いて考える学習を設定している。

【図表等の資料の活用】

- 5年上「1つ分に表して比べる方法を考えよう」  
単位量当たりの大きさを比較する学習では、ドットを用いた図、表、テープ図、数直線を掲載している。
- 5年下「全体とその部分の比べ方を調べよう」「2つの量の比べ方や割合を使った問題について考えよう」  
割合に関する学習では、テープ図、表、線分図、数直線を掲載している。

**視点⑦** 配色や文字の大きさ等の工夫

- 配色・文字
  - ・ カラーユニバーサルデザインに配慮している。
  - ・ ユニバーサルデザインフォントを採用している。
- 3年上「同じ数ずつ分ける計算のしかたを考えよう」  
除法の式の意味を3色で示している。

5 言語活動の充実

**視点⑧** 問題解決の過程や自分の考えを表現し伝え合う活動の工夫



1 基礎・基本の定着

**視点①** 基礎的・基本的な知識及び技能の定着のための工夫

- 2年下「かけ算九九づくり」
  - ・ アレイ図を基に九九を構成する学習を設定している。
  - ・ 6・7の段の答えを求めて記入する欄がある。
  - ・九九を覚える学習を設定している。
  - ・ 巻末に操作用のアレイ図がある。
- 6年
 

巻末に数直線の図、線分図、平行と垂直な線のかき方、コンパス・分度器の使い方を掲載している。

**視点②** 補充的な学習の取扱い

- 巻末に掲載している補充問題のページ数（ステップアップ算数）
 

2年上：	7ページ	2年下：	7ページ	3年上：	8ページ	3年下：	8ページ
4年上：	11ページ	4年下：	11ページ	5年：	19ページ	6年：	14ページ

総ページ数：85ページ

2 主体的に学習に取り組む工夫

**視点③** 見通しをもって数学的活動を行うための工夫

- 巻頭に「みんなで算数をはじめよう！」として学習の進め方を示している。
- 巻頭に見方・考え方をまとめて示している。単元末に見方・考え方を振り返る4コマ漫画を掲載している。

**視点④** 日常の事象から見いだした問題を解決する活動の工夫

- 1年「大きなかず」
 

単元の導入場面において、あさがおの種の数を知る学習を設定している。
- 5年「割合」
 

単元の導入場面において、4人のバスケットボールのシュートの記録から、だれがいちばんよくシュートが入ったといえるかを考える学習を設定している。
- 6年「データの見方」
  - ・ 単元の導入場面において、6年1組と6年2組の読書記録の冊数のデータから、どちらの組が本をよく読んだといえるかを考える学習を設定している。
  - ・ 単元末に、統計的な問題解決の手順に関する内容を掲載しており、実際にその手順に沿って「なわとび大会」の代表を決める問題を設定している。

3 内容の構成・配列・分量

**視点⑤** 全体の配列・分量と単元の構成

- 単元数
 

1年：	18単元	2年：	17単元	3年：	18単元
4年：	17単元	5年：	16単元	6年：	12単元
- ページ数
 

1年：	188ページ	2年上：	153ページ	2年下：	128ページ
3年上：	160ページ	3年下：	146ページ	4年上：	178ページ
4年下：	176ページ	5年：	312ページ	6年：	290ページ
- 仕様
 

判型B5判
- 単元の構成
  - ① どんな学習が始まるかな？
  - ② 毎時の学習
  - ③ 学んだことを使おう
  - ④ まとめ
    - ・ 4コマ漫画
    - ・ ふり返ろう
    - ・ たしかめよう

4 内容の表現・表記

**視点⑥** 挿絵・写真・図表等の資料の活用の工夫

【挿絵・図の扱い】

- 2年下「1を分けて」
  - ・ 単元の導入場面では、3種類（カステラ、ピザ、キャラメル）の写真に掲載している。
  - ・ 実際に半分に分ける場面では、写真や折り紙のイラストを掲載している。
  - ・ 同じ数ずつ分ける場面では、チョコレートの写真とイラストを用いて考える学習を設定している。

【図表等の資料の活用】

- 5年「単位量あたりの大きさ」  
単位量あたりの大きさを比較する学習では、ドットを用いた図、表、数直線を掲載している。
- 5年「割合」  
割合に関する学習では、テープ図、表、数直線を掲載している。

視点⑦ 配色や文字の大きさ等の工夫

- 配色：文字
  - ・ カラーユニバーサルデザインに配慮している。
  - ・ ユニバーサルデザインフォントを採用している。
- 3年上「わり算」  
除法の式の意味を1色で示している。

5 言語活動の充実

視点⑧ 問題解決の過程や自分の考えを表現し伝え合う活動の工夫

- 6年「比例と反比例」  
問題解決の過程や自分の考えを表現し伝え合う際のポイントを示している。

問題をつかむ

- ・ 新しく考えることは何かな。

自分の考えをもつ

- ・ 今までに学習したどんなことが使えるかな。

話し合って深める

- ・ 友だちはどう考えているかな。
- ・ 似ているところや、ちがうところはあるかな。

ふり返ってまとめる

- ・ どんなことがわかったかな。
- ・ どんな考え方がよかったかな。

広げて考える

- ・ 次に考えてみたいことは…。
- ・ ほかの数でも…。
- ・ ほかの場面でも…。

## 1 基礎・基本の定着

### 視点① 基礎的・基本的な知識及び技能の定着のための工夫

- 2年下「かけ算(2)」
  - ・ アレイ図を基に九九を構成する学習を設定している。
  - ・ 6～9の段の答えを求めて記入する欄がある。
  - ・ 九九を覚える学習を設定している。
  - ・ 別ページに操作用のアレイ図がある。
- 6年
  - ・ 巻末に数直線の図、関係図のかき方を掲載している。

### 視点② 補足的な学習の取扱い

- 巻末に掲載している補充問題のページ数(もっと練習)
  - 2年上: 6ページ 2年下: 6ページ 3年上: 7ページ 3年下: 8ページ
  - 4年上: 12ページ 4年下: 10ページ 5年: 13ページ 6年: 12ページ
  - 総ページ数: 74ページ

## 2 主体的に学習に取り組む工夫

### 視点③ 見通しをもって数学的活動を行うための工夫

- 巻頭に「算数のとびら 算数の学習の進め方」として学習の進め方を示している。
- 巻頭に考え方をまとめて示している。年間で1～3回これまでの学習で大切にしてきた見方・考え方を確かめる問題を掲載している。

### 視点④ 日常の事象から見いだした問題を解決する活動の工夫

- 1年「大きい かず」
  - ・ 単元の導入場面において、棒の数を数える学習を設定している。
- 5年「割合(2)」
  - ・ 単元の導入場面において、5年生が学習発表会で音楽を発表する際の、演奏する楽器の定員と希望者の数を比べて考える学習を設定している。
- 6年「データの整理と活用」
  - ・ 単元の導入場面において、3チームの大縄跳びの練習記録のデータから、代表チームの決め方を考える学習を設定している。
  - ・ 単元末に、統計的な問題解決の手順に関する内容を掲載している。

## 3 内容の構成・配列・分量

### 視点⑤ 全体の配列・分量と単元の構成

- 単元数
  - 1年: 23単元 2年: 17単元 3年: 20単元
  - 4年: 16単元 5年: 18単元 6年: 13単元
- ページ数
  - 1年上: 48ページ 1年下: 144ページ 2年上: 136ページ 2年下: 135ページ
  - 3年上: 147ページ 3年下: 129ページ 4年上: 161ページ 4年下: 132ページ
  - 5年: 281ページ 6年: 271ページ
- 仕様
  - 1年上: 判型A4判 それ以外: 判型B5判
- 単元の構成
  - ① じゅんぴ
  - ② 毎時の学習
  - ③ 学びのまとめ
    - ・ たしかめよう
    - ・ ふりかえろう
    - ・ やってみよう

## 4 内容の表現・表記

### 視点⑥ 挿絵・写真・図表等の資料の活用の工夫

#### 【挿絵・図の扱い】

- 2年下「分数」
  - ・ 単元の導入場面では、3種類(ピザトースト、チョコレート、お好み焼き)の写真を掲載している。
  - ・ 実際に半分に分ける場面では、折り紙とテープのイラストを掲載している。
  - ・ 同じ大きさに分ける場面では、チョコレートのイラストとドット図を用いて考える学習を設定している。

【図表等の資料の活用】

- 5年「単位量あたりの大きさ」  
単位量あたりの大きさを比較する学習では、ドットを用いた図、表を掲載している。
- 5年「割合（1）（2）」  
割合に関する学習では、テープ図、表、線分図、数直線を掲載している。

視点⑦ 配色や文字の大きさ等の工夫

- 配色・文字
  - ・ カラーユニバーサルデザインに配慮している。
  - ・ ユニバーサルデザインフォントを採用している。
- 3年上「わり算」  
除法の式の意味を1色で示している。

5 言語活動の充実

視点⑧ 問題解決の過程や自分の考えを表現し伝え合う活動の工夫

- 6年巻頭「算数のとびら」  
問題解決の過程や自分の考えを表現し伝え合う際のポイントを示している。

どんな問題かな

- ・ 求めることやわかっていることは何かな。
- ・ どんなめあてかを考え、話しあおう。

自分で考えよう

- ・ 前に学習したことを使ってみよう。

みんなで話しあおう

- ・ 友だちの考えのいいところを見つけられるかな。

たしかめよう

- ・ 学習したことを使ってみよう。

ふりかえろう

- ・ たいせつだと思ったことや、もっとやってみたいことはあるかな。

1 基礎・基本の定着

視点① 基礎的・基本的な知識及び技能の定着のための工夫

- 2年下「かけ算(2) 新しい九九のつくり方を考えよう」
  - ・ アレイ図を基に九九を構成する学習を設定している。
  - ・ 6～9の段の答えを求めて記入する欄がある。
  - ・九九を覚える学習を設定している。
  - ・ 巻末に操作用のアレイ図がある。
- 6年
  - ・ 巻末に数直線の図のかき方を掲載している。

視点② 補充的な学習の取扱い

- 巻末に掲載している補充問題のページ数(しっかりチェック)
  - 2年上: 12ページ 2年下: 8ページ 3年上: 8ページ 3年下: 8ページ
  - 4年上: 10ページ 4年下: 8ページ 5年: 14ページ 6年: 12ページ
  - 総ページ数: 80ページ

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点③ 見通しをもって数学的活動を行うための工夫

- 巻頭に「さあ、算数の学習をはじめよう!」として学習の進め方を示している。
- 巻末に見方・考え方をまとめて示している。単元末にその単元で大切にしたい見方・考え方を確かめる問題を掲載している。

視点④ 日常の事象から見いだした問題を解決する活動の工夫

- 1年下「20より大きいかず」
  - ・ 単元の導入場面において、ブロックの数を数える学習を設定している。
- 5年「割合～比べ方を考えよう～」
  - ・ 単元の導入場面において、4つの班の輪投げの投げた回数と入った回数の記録から、どの班がいちばんうまく投げることができたといえるかを考える学習を設定している。
- 6年「データの調べ方～データの特ちょうを調べよう～」
  - ・ 単元の導入場面において、AチームとBチームの400mリレーの練習記録のデータを比べる学習を設定している。
  - ・ 単元末に、統計的な問題解決の手順に関する内容と漫画で示した具体例を掲載している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑤ 全体の配列・分量と単元の構成

- 単元数
  - 1年: 20単元 2年: 17単元 3年: 18単元
  - 4年: 17単元 5年: 17単元 6年: 14単元
- ページ数
  - 1年上: 46ページ 1年下: 147ページ 2年上: 161ページ 2年下: 140ページ
  - 3年上: 170ページ 3年下: 147ページ 4年上: 167ページ 4年下: 171ページ
  - 5年: 325ページ 6年: 295ページ
- 仕様
  - 判型B5判
- 単元の構成
  - ① 次の学習のために
  - ② 単元アプローチ
  - ③ 毎時の学習
  - ④ 学習をたしかに
    - ・ わかっているかな
    - ・ たしかめよう

4 内容の表現・表記

視点⑥ 挿絵・写真・図表等の資料の活用の工夫

【挿絵・図の扱い】

- 2年下「分けた大きさのあらし方を考えよう」
  - ・ 単元の導入場面では、3種類(サンドイッチ、タルト、ロールケーキ)の写真に掲載している。
  - ・ 実際に半分に分ける場面では、折り紙のイラストを掲載している。
  - ・ 同じ数ずつ分ける場面では、ブロックのイラストを用いて考える学習を設定している。

【図表等の資料の活用】

- 5年「こみぐあいなどの比べ方を考えよう」  
単位量当たりの大きさを比較する学習では、ドットを用いた図、表、数直線を掲載している。
- 5年「比べ方を考えよう」  
割合に関する学習では、テープ図、表、数直線を掲載している。

**視点⑦** 配色や文字の大きさ等の工夫

- 配色・文字
  - ・ カラーユニバーサルデザインに配慮している。
  - ・ ユニバーサルデザインフォントを採用している。
- 3年上「新しい計算のしかたを考えよう」  
除法の式の意味を3色で示している。

5 言語活動の充実

**視点⑧** 問題解決の過程や自分の考えを表現し伝え合う活動の工夫

- 6年「2つの量の変わり方を調べよう」  
問題解決の過程や自分の考えを表現し伝え合う際のポイントを示している。

**どんな問題かな**

- ・ 画用紙が何枚あるかを数えずに調べるには、何がわかればいいのか考えよう。
- ・ これまで学習した比例の考え方が使えるかどうか考えよう。

**考えよう**

- ・ 見方・考え方  
数量の関係に着目する。画用紙の枚数と重さの関係を考える。

**学び合おう**

- ・ それぞれの表からどのように考えたのか、説明しよう。
- ・ 表や式を使うとどんなことがわかりやすくなるか話し合おう。

**ふり返ろう**

- ・ りくさんとひまりさんの考え方の共通するところはどこかふり返ろう。
- ・ 比例の考えを使っておよその数を調べたいものはないか考えよう。

#### 4 意見

広島市教科用図書採択審議会では、本市児童の課題である「『変化と関係』の領域において、数量が変わっても割合は変わらないことを理解する」こと、「学習したことを日常生活に結び付けて考える」ことに対応する各教科書の特徴について、広島市教科用図書採択審議会調査員が作成した「令和6年度から使用する小学校用教科用図書の調査・研究報告書」を基に審議した。

##### 意見1 東京書籍の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

- ・ 児童が本時の問題と出合った際に、既習事項との違いが分かりやすく、児童にとって自然な思考の流れで見通しをもって学習を進めることができる。また、単元末に「つないでいこう算数の目～大切な見方・考え方」というページを設け、単元を通して働かせる見方・考え方をを使って解く問題を示しており、身に付けるべき資質・能力を意識した授業づくりを教員が行いやすい。
- ・ 1年下「おおきい かず」では、アサガオやヒマワリの種の数を数える学習を設定しており、具体物を用いて数を数えることで抽象的な数の概念を具体的にイメージしやすい。
- ・ 6年「比例と反比例」の学習において、問題解決の過程を示した上で、各過程における学習のポイントを2～3つずつ詳しく示すことで、自分の考えを表現し伝え合う際の手立てとなっている。また、自力解決も自分で考えて学習方法を選択して学習できるような記述になっている。

##### 意見2 教育出版の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

- ・ 算数の学習が苦手な児童にとっても興味をもって振り返ることができるように、単元末に単元の中心となる見方・考え方を4コマ漫画で示している。
- ・ 1年「大きな かず」では、育てたアサガオの種の数を数える学習を設定しており、具体物を用いて数を数えることで抽象的な数の概念を具体的にイメージしやすい。
- ・ 6年「比例と反比例」の学習において、問題解決の過程を示した上で、各過程における学習のポイントを1～3つずつ示すことで、自分の考えを表現し伝え合う際の手立てとなっている。また、自力解決も自分で考えて学習方法を選択して学習できるような記述になっている。